

キラリ 熱中時間

深谷市にゆかりがあり、市内外で活躍する個人や団体を紹介します。

第58回全国技能五輪建築大工の部で敢闘賞を受賞



熊谷工業高校建築科 3年
松村拓夢さん

技術を磨き夢を拓く

皆さんは『全国技能五輪』をご存じでしょうか？『全国技能五輪』は23歳以下の青年技能者が出場できる幅広い職種を対象とした技能競技大会です。南中学校出身の松村拓夢さんは昨年11月に愛知県で行われた第58回大会に埼玉県代表として出場し、高校生ながら見事、建築大工の部で敢闘賞を受賞しました。

子どもの頃から工作が好きだったという松村さんは、受賞について「大会には社会人として経験を積んでいる人も出場しているので、経験と技術は劣るかもしれませんが自分の持っている技術を出し切れたのが受賞につながったと思います」と笑顔で答えてくれました。

▶実際に松村さんが製作した競技課題の完成品



◀『全国技能五輪』で競技課題を製作している松村さん

高校では、建築科で建築を学びながら部活動として建築研究部に所属し技術を磨いているという松村さん。「授業だけでなく建築研究部の先生やOBのかたから指導していただき、また部の仲間たちと相談しながら切磋琢磨してきたことが全国大会でも生かせたと思います。」と話してくれました。

将来の目標を伺うと「最終的な目標は『宮大工』ですが、今回の全国技能五輪で入賞ができたので、その手前の目標として大学でも建築を学び、今度は優勝を目指します。」と語ってくれました。

全国大会での入賞という快挙にもおごることなく、これからも松村さんは建築という『ものづくり』に情熱を燃やしていきます。

L・フォルテ

男女共同参画情報コーナー

ともに認め合い 支え合う 元気と笑顔で参画するまち ふかや

L・フォルテは、深谷市男女共同参画推進センターの愛称です。このコーナーでは、男女共同参画に関する情報を皆さんに紹介します。

個人権政策課 ☎ 574 - 6643

無意識のうちに思い込み

ある男の子が事故に遭いました。男の子は救急車で病院に運ばれ、すぐ近くに住む父親が呼ばれました。男の子が手術室に運ばれる途中、看護師が父親に「安心してください。今日の執刀医は当病院で最も優れた外科医です。」と言いました。父親は「どうかよろしくお願いします。」と言い、男の子は手術室に入っていました。ところが手術をする外科医が男の子の顔を見て、「これは私の息子!!」と叫びました。



【さてここで問題です。この外科医は誰でしょう…。】

『義父』?それとも『見間違い』?みなさんはどうお考えになりましたか?

答えは『母親』です。そう、この外科医は『女性』なのです。

外科医=男性と思ったかたもいたのではないのでしょうか。女性がさまざまな職業に就くことが当たり前の世の中になってきていますが、職業が持つイメージから、無意識のうちに『男性』だと思い込んでしまうことがあり、このような思い込みが、偏見や人権侵害につながってしまうこともあります。男女共同参画を理解しているつもりでも、こうした場面でふと心の根底に潜む意識に気付かされることがあるのではないのでしょうか。

ふっかちゃんの日常から
深谷が見えてくる

ふっか 散歩

深谷消防署岡部分署



◀救急車と消防車も見せてもらったよ。災害はいつ起こるかわからないから、いつでも出動できるように準備してるんだって!車庫のシャッターは大きな地震が起きた時に、車が閉じ込められないように地震と連動して開くようになってるんだって!



▲ここはトレーニングルームだよ。何をやるにも、体が資本!だから消防士さんたちは一生懸命体を鍛えてるんだって!日頃の地道なトレーニングの積み重ねが、みんなの住んでいる地域を守ることに繋がっているんだねえ~。

ふっかちゃんのつぶやき

あけましておめでとう
ようし年だけにモオ
~つといい年になります
ように☆2021年も
よろしくおねがいしま
す Y(o0w0o)Y



心の広場

桜ヶ丘小学校6年
(現南中1年)
荒井 大翔さん



人権について

ぼくは、人権は人間になくしてはならないものだと思います。

人権とは、人間が生まれたときからもっている自由・平等・生存などの人間としての権利のことです。

なので他人が他人に命を絶つような言動をしたり、人の個性を笑ったり、イジったりしてはいけません。だけど、自分が知らない間にそのようなことがされています。

ぼくは、それをなくすために、人が困っていたら積極的に声をかけてみたり、一緒に問題を解決したりしてより良い環境にしたいです。

そして、何より1人1人がおたがいのことを考えたり、助けあったりすることがいじめ0への第一歩だと思います。

そもそもいじめとは、弱いものをわざと苦しめたり困らせたりすることです。

相手がいじめだと思ったら、それはいじめです。でも、いじめている側も苦しいおもいをしていると思います。いじめている側は、自分が標的にされたくない

からいじめ、などといういじめがあります。

他にもいじめの例として、クラスの中心的存在がいじめをされると、まわりの人も中心的存在の方へ入りいじめが悪化、といういじめもあります。

このような存在のまわりには、たくさんの味方がいるので一つのいじめの例のように中心的存在にいじめをされたら立ち場が悪くなると思い、中心的存在の方へ味方してしまうことがあります。

いじめを受けたことがあるかどうか3人にきいたところ、3人中2人がいじめを受けたことがあると答えました。

今の現状ではいじめは消えません。

いじめのせいで人生をなくしてしまうこともあります。そのとき、一番苦しいのはいじめをした人です。

いじめをしてしまい、いじめをした相手の人生をなくしてしまった罪悪感でいっぱいになります。

言葉も使い方をまちがえれば凶器になります。言葉とは人をほめたり、感情を口にだしたりするため

にあります。それが、人を傷つけてしまったり、最悪のケースでは、人を自殺させてしまったりしてしまいます。

言葉は、人間の持つ便利な道具であり、凶器でもあります。

だからまず、相手のことを考えて言葉を発したり、行動することが大切だと思います。

いじめをなくすために必要なこと、それは相手の気持ちを考えることです。

これからはぼくは、相手の気持ちを考え、困っている人を助けたいです。